

# 和裁 マイペットボトル袋

「和裁」とは、茶道、華道、踊り等の日本の伝統文化に不可欠な和服（着物）をつくる仕事です。

対象者  
小学校  
5～6年生

所要時間  
120分

## 材料リスト

- キルティング布(表布・木綿又は化繊) [巾15cm×48cm]
- ブロード(裏布・木綿) [巾15cm×48cm] 参加者数分
- カラーゴムひも [15cm]
- カラー紐 [巾2cm×100cm]
- ボタン [大・小] 参加者1名につき各1

## 使用工具リスト

- マチ針 [3cm～5cm程度] 参加者1名につき4本
- 縫い針 (もめん針) [3cm～5cm程度]
- 針さし
- 木綿糸 (50～60番) [1m程度] 参加者数分
- 小ばさみ
- ものさし [15cm～30cm]
- 折れ針入れ



## 体験した児童・生徒の感想

- 大変だったけど、かわいいペットボトル袋ができて、とても嬉しかったです。
- 針に糸を通すのが、難しかったです。
- 縫うのが大変だったけど、できあがったときには、自分でもすごいと思いました。
- 説明が分かりやすかったし、丁寧に教えて下さったので、思ったより簡単にできました。



## 担当教員の感想・要望など

- 夏休みの工作教室として、本体験を導入しました。
- 自由参加ですが、ものづくりに興味がある児童自らに申し込ませました。
- 5年生から家庭科の授業で、裁縫を始めるので、この体験教室に参加することは、授業の予習・復習にもなっています。



## 作業工程の概要



- キルティング布を寸法どおりに裁断します。
- ゴムひもを輪にして、片方側に留めます。
- 表布と裏布とを内表に合わせて、両端を縫います。
- 縫うところに印をつけます。
- 両端を縫ったところを中心に合わせて、印のついたところを留めます。
- 底になる両端の輪を3cm折り返します。
- 縫うところに「しつけ」をかけます。
- 返し口(裏布の方10cm)をあけて、半返して縫います。
- 返し口から表に戻します。
- 返し口を表からかがり、口をふさぎます。
- 裏布を表布の中に入れて、袋にします。
- 肩にかける紐を縫いつけ、ボタン(小)で留めます。
- ゴムひもをかけるボタン(大)を縫いつけます。
- 肩にかけられる長さに紐を調整します。



## 学校側との事前調整事項等

- 児童が持っている裁縫道具(ものさし、はさみ等)は、持参してもらいます。
- 児童の人数を確認し、1グループの人数が4～5名になるようにします。
- 児童の裁縫に対する理解度・授業の進み具合等を確認します。
- 当日の指導者人数を決め、学校側に伝えます。

## 安全作業上の注意事項

- 説明のときは、手を止め、目と耳をしっかり傾けて聞くように促します。
- 針の本数を確認します。
- 折れた針は「折れ針入れ」に必ず入れるように注意します。
- 使わない針は、針さしに刺しておきます。
- はさみを使わないときは、刃先を閉じ、針さしの横に置きます。

## 指導者からのアドバイスなど

- 裁縫の経験のない児童に教えるには、最初に玉結び、玉留、なみ縫い等の基本を指導してから、本製作に入ったほうが、早く確実にできると思われます。
- 自分の力で1つの物を完成できたときの目の輝きが素晴らしく、達成感が伝わってきました。
- 休憩時間もほとんど休まず、すぐに縫い始め、一生懸命に集中している姿に感動しました。
- 児童達にとって一生の宝となるように、指導者としても一層の努力をしていきたいです。

## 協力

- 広島県技能振興コーナー (082-245-4020)
- 鹿見 初子 (ものづくりマイスター：和裁)
- 開催場所：府中市こどもの国 (POM) 参加者：府中市内の小学生
- 広島県和裁教師協議会